

会 議 録

会議の名称	第26期東村山市青少年委員の定例会（第5回）				
開催日時	平成27年8月6日（木）午後7時00分～9時00分				
開催場所	いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者 及び欠席者	<p>●出席者： （委員） 森田明美副会長・木村一樹委員・小島恵子委員 佐々木悟子委員・鈴木史秋委員・多田啓子委員・長谷川篤人委員 飛澤誠委員・宮崎真吾委員・宮崎貴幸委員・横田昇委員</p> <p>社会教育課：平島課長・朝岡係長・天野</p> <p>（市事務局）</p> <p>●欠席者： （委員） 藤澤功明会長・児玉光昭委員・横山大吾委員</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青少年委員会長挨拶 2. 社会教育課長挨拶 3. 協議事項 4. 活動報告 5. 事務連絡 6. 事務局より 				
問い合わせ先	教育委員会教育部社会教育課社会教育係 担当者名 朝岡・天野 電話番号 042-393-5111（内線3515） ファックス番号 042-397-5431				
会 議 経 過					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 青少年委員会長 挨拶 2. 社会教育課長 挨拶 こんばんは。会長は仕事の都合で、会議に参加できませんが、協議事項の多い会議となりますので、みなさまよろしく願いたします。事務局からは、最後にみなさまにお礼とご連絡がございます。 3. 協議事項 平成27年度「輝け！東村山っ子育成塾」 司会：森田副会長 （1）第4回「保育体験代替案」について ●・以下4点の確認・説明を行う。 ①スタッフ集合時間について ②子どもの利用する駐輪場について ③子どもへの庁舎内での諸注意について（静かに移動することや水分補給も含む） ④日程表の説明について <午前のプログラム> ・いきいきプラザ3階マルチメディアホールでAED講習を行う。 					

<昼食>

- ・北庁舎第3会議室に移動する。子どもは15分くらいでお弁当を食べ終わってしまうので、残りの時間を走らないように注意する。
- ・妊婦体験の代表者を決めたい。
- ・水筒に麦茶の補給、トイレ休憩も含めて、12:40を目途に終了する

<午後のプログラム>

- ・「健康・命について考えよう」では、グループワークは、既存の班で行う予定だが、当日の参加状況によっては、再編成する。赤ちゃん抱っこ体験では、人形が4体なので、6班から4班に再編成する。妊婦体験では、補助具が1体なため、男女1名ずつの代表者を選び、その他の子どもは見学するという形をとる。
- ・「庁舎見学」では、先発班と後発班との2つの班に再編成する。水分補給は、スタート地点とする教育委員会室で行うこととする。

- ・何か補足はあるか。

●事務局

- ・午後のプログラムで使用する教育委員会室の配置図の説明を行う。

司会：森田副会長

(2)第5回「バス研修(案)」について

- ・火山の噴火警戒レベルが上がらなければ、予定通り、神奈川県小田原市『神奈川県立生命の星・地球博物館』を行先とする。火山の噴火の警戒レベルが上がった場合、多摩動物園または上野動物園が考えられるが、移動の際のトイレ休憩を考慮すると、多摩動物園にしたいが、よろしいか。(異議なく了承された。)

司会：森田副会長

4. 活動報告

①平成27年度 輝け！東村山っ子育成塾③「世代間交流」

【日時】7月12日(日)8:10~15:30

【場所】市民センター第1、2、3会議室

- ・リーダーの中には、育成塾での吹矢の経験もあり、自主的に活動している様子がみられた。
- ・会場が狭かったが、上手に配置してスムーズに運営することができた。
- ・スポーツ吹矢協会内で指示が統一されきれていない部分もあったが、後半は、子どもたちの質問にも答えてくれ、なごやかな雰囲気だった。
- ・協議の途中に矢を取りに行くことなどもなく、事故がなく無事に運営することができた。
- ・人数の都合上、当日班を再編成したので、班ごとにできなかったのが残念だった。
- ・準備体操がなかったので、今後行っていくのであれば、準備体操を取り入れていきたい。
- ・背の低い子どもは、矢を上向きに吹いているのが苦しそうだった。身長に合わせて行うことができる配慮をしていきたい。
- ・いつもの育成塾で活動している班から、再編成で班員が分かれた班があったが、それぞれの班のなかでまとまって協力できていた。
- ・競技が大人用の高さのようだったので、ジュニア向けの高さに設定して行いたい。
- ・団体競技の集計時間で、鈴当てゲームの予定だったが、前半戦終了時にゲームが始まり、順番が入れ替わったが、円滑に進むように対応ができてよかった。
- ・最後のふりかえりの前に、朝のミーティングで、どんなことをがんばろうということを話すと、ふりかえりシートの意義がより効果的になるのではないかと。
- ・狭い会場だったが、有効的に使えた。
- ・団体競技の前半戦と後半戦の間にゲームが入ってしまい、予定通りの順番とはならなかった。時間的には厳しいだろうが、スタッフも参戦して子どもと競うのもよいだろう。
- ・吹矢協会の方の説明をきちんと聞いていて、よい雰囲気であった。
- ・リーダー同士のおしゃべりを上手に注意していきたい。
- ・狭い会場だったが、けがもなくよかった。
- ・リーダーの中には、吹矢をやりたい気持ちはあるものの、今はそのような場ではないと感じ、リーダーの役割を果たそうとしている姿がみられた。

●事務局

- ・子どもたちと吹矢協会の方々が、世代を超えて交流する姿がみられた。次年度も、子どもたちが幅広い年代と接する機会を設けていくことを、みなさまと検討させていただければ、ありがたい。

②平成 27 年度 東京都青少年委員会連合会 7 月代表者会議

【日時】 7 月 13 日(月)19:00~20:30

【場所】 東京体育館 第 2 会議室

- ・来年は、多摩第 1 ブロックで行うが、500 人以上を収容できる会場を早めにおさえなければならない。

③平成 27 年度 多摩地区青少年委員会連絡協議会 (第 1 回)

【日時】 (1)役員会 7 月 21 日(火)19:00~19:30

(2)理事会 7 月 21 日(火)19:30~21:00

【場所】 立川市子ども未来センター 2 階 202 会議室

- ・会長不在のため、次回の定例会での報告とする。

司会：森田副会長

5 事務連絡

平成 27 年度輝け！東村山っ子育成塾第 5 回「バス研修」の欠席者の確認をとる。

6 事務局より

●事務局

- ・青少対キャンプへのご協力、ありがとうございました。おかげさまで無事に終わることが出来ました。何かご意見あれば、頂戴できるとありがたいです。
- ・各委員より、感想などありますか。
- ・大人の人数が子どもの人数よりも多く、子どもを手厚くみることができた。うどんやカレーなどを作ったが、覚えも早く、積極的に動いてくれた。
- ・2 日間、初めて川で遊んだ。2 日目に、前日使った水着が乾くか心配だったが、乾いて、遊ぶこともできた。
- ・子ども 65 人に対して、2 日目の大人が 20 人弱と、大人の人数が少なかったが、キャンプファイヤーが成功して、盛り上がった。
- ・大人やリーダーの人数が少なく、リーダー 1 人で 2 班みていたが、子どもたちも協力的で、円滑に進めることができた。天気に恵まれていたが、ブヨの被害もなく、バウムクーヘンを作ったり、夜は肝試ししたりと、充実した活動だった。
- ・お疲れ様です。今年は異常に暑いので、体調には気を付けてください。なぎさ体験塾は、事務局主導の事業なので、委員のみなさんは事務局のサポートをよろしくお願いします。話し合いをする際、例年通りと言いがちだが、毎年、参加者は違うので、新たな気持ちで取り組んでいきましょう。

以 上